

平成26年度「重点研究費」研究成果報告書

研究課題	小学生の異文化理解と自文化受容—外国人との交流活動の効果—
------	-------------------------------

研究代表者

氏名 島田めぐみ	所属 留学生センター	職名 教授
-------------	---------------	----------

研究分担者

氏名 栗田知美	所属 八丈町立大賀郷小学校	職名 外国語指導助手

【研究成果の概要】 (文字の大きさ9ポイント・字数800字～1600字程度)

1. はじめに

本研究の目的は、小学生の異文化理解と自文化受容に外国人との交流活動が有効であるか、有効である場合どのように有効かを明らかにすることにある。本研究では、東京都八丈町立大賀郷小学校において、米国ハワイ出身外国人による授業を行った。ハワイは八丈島と地理的、文化的小よび言語的環境が類似しているため、特に自文化受容の点で効果があると考えた。

2. 方法

東京都八丈町立大賀郷小学校において、2014年度2回にわたって外国人講師（米国ハワイ州出身）による授業を実施した。詳細は次のとおりである。

対象：5年生、6年生

第1回授業：

【日時】2014年5月21日（水）85分間

【対象】前半45分は5、6年生児童33名、後半40分は全校児童130名

【内容】ハワイについての紹介、ハワイの伝統楽器と伝統舞踊の教授など

第2回授業：

【日時】2014年10月22日（水）45分間

【対象】5年生児童16名

【内容】ハワイの伝統楽器の演奏方法、ハワイ伝統曲の歌詞、伝統舞踊の教授

3. 結果

各回の授業前と授業後に意識調査アンケートを実施し、次のことが明らかになった。

- ① 「外国人講師と勉強することに対する不安や心配があるか」、授業前に尋ねたところ、「不安や心配がある」と回答した者は、第1回は23.1%だったが、第2回には12.50%とほぼ半減した。
- ② 各回の授業前と授業後に「外国人について、どのようなイメージがあるか」尋ねた。2回の授業を受講した5年生の回答を検討したところ、以下のことが明らかになった。
 - A) 回を追うごとに「安全」と回答する割合が増加する。
 - B) 授業後に「親しみやすい」「話しやすい」と回答する割合が増加した。
 - C) 「活発」「楽しい」と回答する割合は最初から高く、変化はほとんどない。
- ③ 「外国人講師とどのようなことをしたいか」尋ねたところ、第1回は、授業前アンケートでは、「フラ」、「ハワイのことを教えてもらいたい」の回答が多いが、授業後のアンケートではこれに加え、「つりをしたい」、「八丈のことを教えたい」、「八丈太鼓を教えたい」、「石投げ踊りを教えたい」など多彩な回答が得られた。授業後、自文化の発信を考えた児童があらわれたことがわかる。第2回授業の授業前アンケートでは、楽器を習うことを事前に承知していたことから「楽器」と回答した者が多い。授業後は「フラ」「ハワイ語」「楽器」など授業で扱った活動、「つり」「サーフィン」などハワイと八丈に共通する活動があげられた。
- ④ 第1回の授業前に「外国人講師に教えたいこと、伝えたいことがあるか」尋ねたところ、「ティリーフがたくさん生えていること」、「フラ教室があること」、「自然がきれいなこと」、「新鮮な魚が釣れること」、「島の人々は海が好きなこと」などハワイとの共通点が多数あげられていた。また、「八丈の名所」、「八丈太鼓」など八丈の魅力に関する回答もあった。全回答のうち、68%が八丈の文化や自然に関するものであった。

4. 考察

2回にわたる活動を行い、児童に対しアンケート調査を実施したことで、児童の異文化理解と自文化受容に関する意識の変化を観察することができた。異文化理解については、交流を進めるほど外国人に対する不信感が減少するということがわかった。また、授業直後は親近感を感じる割合が増加していた。

自文化受容については、外国人講師に伝えたいことを聞くことにより、間接的に意識の変化を検討した。授業前のアンケートで、八丈の文化や自然をあげる回答が全体の7割近くあった。外国人と接することにより、自文化について考えるきっかけになったのではないだろうか。

これらの結果から、外国人との交流授業は児童の異文化理解と自文化受容に対し有効だと言えよう。今後は、児童が自文化を伝えるための準備をして、外国人に伝える、という活動を取り入れるなどの方法を取り入れ、その効果を検証したい。

研究成果発表方法

[発表論文名(口頭発表を含む)、氏名、学会誌等名(投稿中・投稿予定・執筆中)を記入する。]

※本経費を用いて、報告書(冊子等)を作成した場合には、本様式とともに1部を提出すること。

なお、提出された報告書は教育実践研究推進本部を通じて附属図書館へ寄贈する。

報告書『小学生の異文化理解と自文化受容—外国人との交流活動の効果—』